

令和4年第9回 議会運営委員会 会議結果

令和4(2022)年5月6日(金) 13:30~13:45 第1委員会室

《出席者》永井 委員長（兼 公明党代表）、清水 勇 副委員長（兼 会派きぼう代表）、清水優一郎 委員、竹村 委員、木下 委員、熊谷 委員（兼 新政いいだ代表）、原 委員（兼 会派みらい代表）、井坪 議長、山崎 副議長、古川 委員外議員（日本共産党代表）

【○説明事項、□意見、★決定事項、◎会派検討依頼事項】

1 飯田市議会業務継続計画（案）（議会BCP）について

- 平成28年の災害等対応指針、令和元年の災害時等公用マニュアル及び令和2年の新型コロナウイルス感染症対応計画の統合化を図るべく、市議会災害対策会議において協議し、内容を精査してきた。
- この度、案として議会運営委員会に提出し、ご決定いただきたい。
- ★飯田市議会業務継続計画（議会BCP）として決定し、議員と議会事務局で周知徹底を図り、災害時に対応できる体制を整える。
- ★本年度の市議会防災訓練において、本計画に基づいて実効性を高めることができるよう創意工夫して実施する。
- ★市議会防災訓練から得られた情報や新たに発見された課題については、適切に計画に反映できるよう、適宜議会BCPの見直しを行う。

2 令和4年度補正予算（案）について

- 日本生産性本部との交渉の経過と補正額の根拠について説明を願う。
- 今回の当市議会における取組は、研究会の実装の場として位置付けられているため、関係する経費については最小限となるよう、日本生産性本部の事務局と交渉してきた。
- 本来であれば、議会プロフィールと成熟度評価については、研究会が持っているノウハウであるため、コンサル経費が発生するところであるが、実装の場を理由に、実費弁償による直接支援に係る経費を計上するに至った。
- 日本生産性本部提案の見積書を精査する中で、移動手段の見直し等を行い減額するなど、調整を行ってきている。
- 日本生産性本部事務局の直接支援については、今後のスケジュールに基づき、その都度事前調整を行い、係る経費が過大にならないよう配慮してまいりたい。
- ★第2回定例会の令和4年度補正予算案に議会費として、地方議会評価モデルに必要な報償費及び旅費474,400円を予算要求する。

3 議会運営委員会の委員構成について

- ★第2回定例会の告示議運は「会派みらい」の委員にご出席いただき、中日議運から「公明党」の委員にご出席いただく。
- ★「会派みらい」の委員（佐々木議員）からは、5月17日の告示議運をもって辞職する旨の「辞職願」を提出いただき、新たに「公明党」から委員を選出いただく
- ★「飯田市議会委員会条例」第8条第1項の規定により、5月24日の開会日に「日程第6」として議長からご指名いただき、選任を行う。

4 その他

- (1) ★地方議会評価モデルの取組体制について確認。
- (2) ★今後の日程を確認。